

令和8年度 調布市立第三小学校 学校経営計画（学校長 内藤 みゆき）

学校の教育目標	
◎情操の豊かな子ども ○自主的に学ぶ子ども ○明るく健康な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
「子どもが主語に 元気・やる気・根気を育む学校 ～教職員・保護者・地域の“三笑”で支える共育の推進～」	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直な児童が多い。しかし自己肯定感が低く主体的な取組に課題をもつ児童も少なくない。 ・他者とのコミュニケーションが拙く、集団生活に苦手さやストレスを感じる児童が増加傾向にある。
中期的な経営目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1 全教育活動を通して「聴く」指導の徹底を図るとともに、道徳教育を充実させ、自他を尊重し自律した言動がとれる児童を育成する。 2 学年・教科担任制における指導体制の下、多面的な児童理解に基づく個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、学力向上につなげる。 3 体育科授業の充実とともに、ちょこプラ1 調布等の取組を定着させ、業間を活用した体力づくりの意識向上を図る。 4 コミュニティー・スクールと地域学校協働本部の活動の一体的な充実を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。 5 児童の多面的な理解を自己肯定感の向上につなげるとともに、自己指導能力の育成に努め、生活指導上の課題を組織的に解決する体制を構築する。 6 特別支援教育を推進し、SS や SC、SSW、巡回指導教員等を含めた全教職員及び関係諸機関との組織的連携を強化していく。 	
人・組	学年・教科担任制の体制整備を推進し、教員の専門性の向上を図る。また、全教職員が職層に応じた自身の役割を自覚し、学校経営方針を実現させるための取組を工夫し、協働的かつ効率的に動くことができる組織を目指す。

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①「聴く」ことの指導を徹底し、考え議論する道徳科授業に学校全体で取り組む。交換授業を行い、様々な教員が指導する中で、多面的な物事の見方や多角的な考え方を身に付けさせていく。	①学年・教科担任制を充実させ、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を推進する。分かる喜びや、考えること、意見交流することの楽しさを味わわせる授業づくりに努める。	①ちょこプラ1 調布や「マラソン旬間」「なわとび旬間」「ロング昼休み」等の取組を通して、隙間時間を有効活用しながら、体力向上への意識を高める。
②異学年交流や挨拶運動等を通し、自他を尊重する人権教育を基盤に「いじめはどんな理由があってもいけない」という意識の向上を図る。	②情報モラル教育と併せて、学習者用端末等の ICT 機器の利活用を図り、個別最適な学び、協働的な学びに活かす。	②教科担任制による体育科授業の充実を図り、「スポーツ鬼ごっこ」や「ダブルダッチ」等の取組と併せて、児童の体力向上に努める。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①児童アンケートの肯定的回答の目標 「豊かな心の育成」項目：90%以上	①児童アンケートの肯定的回答の目標 「確かな学力の育成」項目：90%以上	①児童アンケートの肯定的回答の目標 「体力向上の意欲」項目：80%以上
②児童アンケートの肯定的回答の目標 「いじめ撲滅の意識」項目：90%以上	②児童アンケートの肯定的回答の目標 「ICT を活用した教育活動」項目：90%以上	②学校評価アンケートの肯定的回答の目標 「学年・教科担任制の推進」項目：80%以上
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 コミュニティー・スクールの推進	5 生活指導の充実	6 特別支援教育の充実
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的な活動の充実を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。	①学年・教科担任制の取組を多面的な児童理解に生かし、児童の自己肯定感の向上と組織的な課題解決につなげていく。	①児童への支援充実を図るため、校内委員会を特別支援教育部と不登校支援部の2つに分け、迅速な情報共有と支援体制の構築につなげる。
②地域学校協働本部と連携しつつ、生活科や総合的な学習の時間等に地域資源・人材を活かし、教科横断的な学習指導を充実させる。	②校内教育支援センター(ケヤキールーム)を複数の地域人材の協力を得ながら運営を継続させ、不登校児童への支援体制の充実を図る。	②特別支援教室の巡回指導教員や巡回相談員、SC、SSW と在籍学級教員との連携を充実させ、個々の児童のニーズに応じた支援に努める。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
①学校評価アンケートの肯定的回答の目標 「学校運営協議会の推進」項目：90%以上	①児童アンケートの肯定的回答の目標 「生活指導の充実」項目：90%以上	①学校評価アンケートの肯定的回答の目標 「不登校支援の充実」項目：80%以上
②児童アンケートの肯定的回答の目標 「地域連携の教育活動の充実」項目：90%以上	②児童アンケートの肯定的回答の目標 「不登校支援の理解」項目：90%以上	②学校評価アンケートの肯定的回答の目標 「特別支援教育の充実」項目：80%以上

人材育成・組織運営
<ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭及び各部主任教諭をリーダーとする校内組織の質的向上及びOJTの充実を図る。(若手教員の育成・主任教諭の活用) ・職層に応じた職責の自覚を促すとともに、校務改善及び指導力の向上を図る。 ・教員の専門性向上や児童と向き合う時間をより多く捻出するため、多忙感軽減を目指した建設的かつ有効な改善案を検討していく。 ・放課後子ども施設との連携会議である学童ミーティングや経営支援部の運営を充実し、児童の情報交換や学校環境整備に努める。